

## サボローゾ 通信

**ご来店ありがとうございます！  
新たなスタートを切ったサボローゾを  
これからもよろしくお願ひします！**



ブラジル料理店「サボローゾ」は、おかげさまで、今年8月に開店1年半を迎えました。6月に、ローカル局の情報番組で紹介していただいたこともあり、店の認知度も向上。「テレビを見ました」と遠方から来店して下さる方もいらっしやって、本当にありがたく思います。一方で、開店以来、店の運営の中心的役割を担ってきた店長が、ブラジルへの帰国準備のため、今年8月末をもって退職しました。9月か

らは、ブラジル人スタッフ2名と日本人スタッフ3名のメンバーで、新たなスタートを切ることとなりました。店長の熱い思いと心のこもった料理をスタッフ一同が引き継ぎ、ブラジルの方々はもちろん、出身国や年代を問わず、多くの方々に気軽に来店していただける店づくりを、これからも進めていきたいと思ひます。

経営状況は、決して良いとは言えない状態ですが、周辺地域へのランチの配達、ブラジル人のお客さん向けの弁当宅配など、新しい取り組みも始めています。みなさまのご来店・ご利用をスタッフ一同心よりお待ちしております！（堀西）



# ESPERANÇA

2011年11月 第3号  
発行：特定非営利活動法人  
エスペランサ  
連絡先：090-3714-1892(堀西)  
Eメール：tabkyo-p@sky.plala.or.jp  
\*エスペランサとは「希望」という意味です。

## 出雲市街地を流れる地域資産「高瀬川」を活かし、 地域と国際文化パワーによる「にぎわい」を！

### 「高瀬川写真展」をパラオで開催

NPOエスペランサは、高瀬川商店街組合やパラオ三者で「春の高瀬川写真市民コンクール」に出品募集をしたところ、高校生や市民各層から出展がありました。準備が遅れ、8月からパラオの通路に掲示したところ予想以上の皆さんが鑑賞され、9月末まで1ヶ月半も掲示しました。



### 景観を楽しむ高瀬川ウォークを開催

小春日和の4月10日の朝、高瀬川を建設した大楯七兵衛像前に子供や大人16人が集まり景観ウォークへ出発。早い流れの川沿いの公園や古い家々、街並みを見学しながら2.5kmをみんな元気に歩き、取水口に到着。丘の上から斐伊川を見ながら、高瀬川を活用した地域創りを話し合いました。



### 読者の皆様へ

地方都市中心市街地は大規模住宅団地や大型ショッピングセンターの影響を受け衰退し、出雲市も例外ではなく、歴史風情ある高瀬川沿いの公園や空スポットを舞台に音楽など文化・産業・市民エネルギーにより「にぎわい復活」へ協働を呼びかけます。（江角）



### \* 会員募集のご案内 \*

NPO法人エスペランサでは、下記のとおり会員を募集しています。多様な文化背景をもつ人たちが共に安心して暮らせる地域づくりを、ぜひいっしょに進めませんか？

■正会員 年会費：個人2,000円  
団体3,000円

■賛助会員 年会費：個人1,000円/1口  
団体2,000円/1口

\*ご関心のある方は、上記連絡先までお気軽にお問い合わせください。

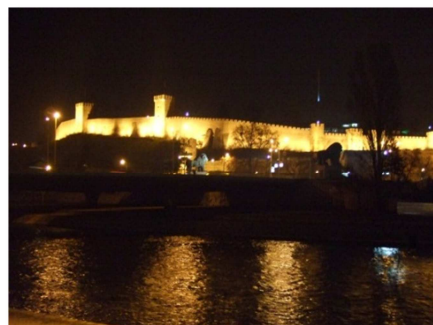
## ～初めて訪れた異国～ ①

### マケドニア Македонија



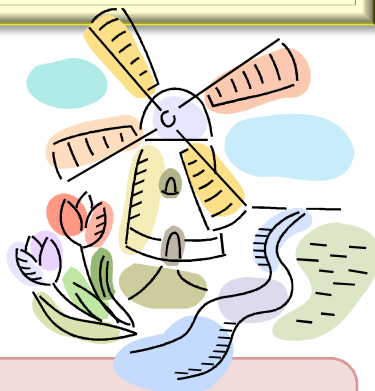
東ヨーロッパのバルカン半島に位置し、旧ユーゴスラビアの最南端に位置する小国、マケドニア共和国。公用語はマケドニア語。人口約2,042,000人のうち、850,000人が首都のスコピエ（Skopje）に暮らしている。スコピエには有名なストーンブリッジがあり、橋を渡るとバザー一街という旧市街に入り、モスクが多く見られる。

Kale Fortress という城壁も残っており、そこから見る景色は絶賛。オレンジ色の屋根がとても可愛い。夜になると城壁とストーンブリッジがライトアップされ、それも見所。マザー・テレサの出身地でもあり、マザー・テレサミュージアムもある。英語はあまり通じないが、みんなフレンドリーに素敵な笑顔で接してくれる。（野井）



## 2011/晩秋の「国際理解事業」紹介とご参加のおすすめ

NPOエスペランサは地域に住む外国人が安心して暮らせる地域創りに向けて、外国人と住民が交流を通じて相互理解をはかる「国際理解事業」を積極的に進めています。引き続き、市民の皆さんにはご参加をよろしくお願ひします。今後予定のNPOエスペランサによる国際理解事業をご紹介しますので、ぜひご参加ください。



### 日本や島根と長〜い交流関係がある「オランダ王国の紹介交流」事業

江戸時代の鎖国体制下で交易を行い、ヨーロッパ文化を日本に流入させ世界に紹介したオランダ。1990年代中頃から日本文化研究を行うオランダ人学生を13年間にわたり援助した斐川町は出雲市と合併。今後は市民中心により、ヨーロッパEU中心国のオランダと島根の友好交流を拡大させよう！

#### \*オランダ王国の紹介パネル展示会

- ①と き：11月 5日～11月13日 ところ：斐川町図書館 1階ロビー
- ②と き：11月18日～12月14日 ところ：出雲市中央図書館 1階

#### \*オランダ王国と島根を結ぶ講演会

- ところ：出雲市中央図書館
- 講 師：ヴァス バルクスさん（オランダ王国大使館報道文化担当官／斐川町滞在経験）
- ※11月20日の開催を予定していましたが都合により変更となりました。後日ご案内させていただきます。

### 「生活と文化から学ぶ初歩のフランス語教室」(5回シリーズ)開催

- と き：12月17日(土)～ 午後2時～4時 ところ：出雲市ボランティアセンター
- 講 師：ルーク ポマレードさん（フランス出身／松江市在住） 募 集：15人

## 誰もが安心して暮らせる地域づくりをめざして

出身国や、言葉、文化・習慣のちがいがいかかわらず、誰もが住みやすい地域づくりを進めていくうえで、外国人住民にとっても、受入れ社会の住民にとっても安心して暮らせる地域とは、どんな地域であるのか——。NPO法人エスペランサでは、まずそれを知るために、昨年10月から今年3月にかけて、外国人住民に対する聞き取り調査と、外国人住民に対する受入れ社会の住民の意識調査(アンケート調査)を実施し、報告書にまとめました。同時に、この調査を通じて、外国人住民の方々との接点を持ち、関係づくりを進めるきっかけとすることをめざしました。まずは、この調査にご協力いただいたすべての方々に、厚くお礼を申し上げます。

外国人住民に対する調査は、ブラジル、中国、フィリピン、バングラデシュ出身の合計57名の方々

にご協力をいただきました。生活情報の入手手段、日本語能力、生活上の困りごと、地域や行政への要望などを自由に回答していただきました。この中で、「困りごとの相談相手」については、同国出身者や仕事上の関係を挙げた方が多かった一方、「いない」と回答された方も7名いらっしゃいました(グラフ①)。一方、受入れ社会住民の半数以上が、外国人住民との接点はない、と回答されました(グラフ②)。地域社会の中で、隣人としていかに共に暮らしていけるか——この調査結果をもとにみなさんと一緒に考えていきたいと思います。

ご関心をお持ちの方、調査報告書をご覧になりたい方、ご質問等おありの方は、NPO法人エスペランサ(担当：堀西)までお気軽にお問い合わせください。(堀西)

## 多くの国々の生活や文化理解/交流に 取り組んだ夏期事業報告



### ベトナム家庭料理を介し「ベ日交流会」

(6月・松江市)

6月20日(水)夕、島根大学のベトナム人留学生と市民20数人が集い、ベトナム人が調理した里芋スープや豚肉炒めなど家庭料理4品を食し、ベトナムのお話を楽しんだ！里芋スープなど全品が絶品！日本人全員「アゴが落ちた」？というほど大好評の料理でした。

### 食の宝庫！メキシコ料理や中南米講座

(7月・出雲市)

メキシコは日本の食卓の定番野菜トマトやカカオなど食材の宝庫！タコスやトルテーリヤという有名なメキシコ料理を浜田市のアメリカ人国際交流員の指導で作りました。参加者手作りの料理を食し、大へん好評でした。食後はキューバ、ニカラグア、コロンビア出身者により3ヶ国の紹介が行われました。



### ブラジル料理と紹介講座を各地で実施

(7～10月)

ボンデケーキ(チーズパン)など4品とブラジルコーヒーなど料理と紹介を7月に松江市と斐川町で開催、10月には大田市でも開催。8月に松江市でオランダ交流会、9月に松江国際交流フェアでスリランカなど4ヶ国の紹介やオランダの写真展示を行いました。



## ～「地域に暮らす外国人の生活調査」中間報告～

